



新居浜市瀬戸会館

〒792-0821 新居浜市瀬戸町7-30
Tel: 0897-41-5859 (Fax 兼用)
E-mail: seto@city.niihama.ehime.jp



△月○日(●曜日) 日直 高津 浦江

6月の主な行事予定

- ★絵本の読み聞かせ『さくらクラブ』
6月2日(火)・16日(火)
泉川小学校放課後児童クラブ
- ★移動図書館青い鳥号
6月3日(水)・17日(水) 14時~14時40分
- ★ゆめじゆく編集委員会
6月9日(火)13時30分~
- ★「人権のつどい日」
6月11日(木) 19時30分~
内 容: 同和問題と人権
人権啓発指導員: 菅 順一さん
- ★回転木馬(瀬戸児童館)
6月16日(火) 10時30分~11時30分
- ★人権・同和教育関係行事
6月25(木)・26日(金)
四国ブロック隣保館女性職員研修会(高知県南国市)

チョット一言



6月から事務所前のところに意見箱としてチョット一言(名称)を設置しました。

ああしてほしい、こんな事してほしい、などチョットしたことや相談事など気軽に皆さんの声をお聞かせください。



平成27年度 瀬戸・寿水道組合総会開催される!

瀬戸・寿上水道組合の平成27年度総会が5月9日(土)瀬戸会館にて開催されました。有効議決権出席16名、委任状2名となり総会は成立しました。

総会では平成26年度の事業報告、決算、監査報告承認。平成27年度の事業計画では、年間6回の水道委員会の開催、昨年度に引き続き学習会の実施、これまでの懸案事項となっていた各家庭のメーターの取り換えなどの提案報告がなされました。

特に各家庭のメーターの取り換えは、場所、範囲など今後の水道委員会にて提案し、決定次第、組合員にお知らせすることになりました。その他の意見交換時には、市役所との意見交換、本管バルブの不具合や料金の問題等々が意見として出されるなど、すべての議題が承認され終了しました。

報告しま〜す。校区の町民運動会で総合優勝しました



泉川小学校のグラウンドは、早朝から住民の皆さんの明るい歓声に包まれました。5月17日9時から開催の「泉川校区町民大運動会」において、瀬戸・寿連合自治会は見事優勝を飾りました。今年の大会は50回という記念大会となりましたが、この節目の大会に優勝できたことは、大変うれしいことです。前回の優勝は平成8年の31回大会ですので久しぶりです。

開会式の入場行進時は、人があまりいなくてどうなることかと思いましたが、それでも競技が始まる頃には、子どもから高齢者まで何とか参加できるほど集まりました。2番目に行われた得点種目「アベックボールけり」で仲の良さを見せて、いきなりの1位。「優勝はしなくていい、でも一番は気持ちがいい」このことが影響したのでしょうか、全般を通じ、良い成績を収めることができました。綱引きでは、一人ひとり全力を出し切った1位。むかで競争では、男女ともに1位でしたが、木岡さんが大きな旗を持ってグラウンド内に入場、お歳を忘れて大応援、ブロックのテント内は大きな歓声と拍手が広がりました。最後のブロック対抗リレーでは、入賞は逃したものの選手の皆さんは大活躍でした。

地域の人たち、家族の人たち、友達と十分に運動会を楽しめたと思います。心地よい1日となったことでしょう。皆さんお疲れさまでした。



元気に楽しく若葉会!! 始動



4月28日(火)瀬戸会館において19時から、平均年齢66歳の若人?の皆さんが集い、老人会結成に向けた話し合いを行いました。当日は、10名の参加者で、会の目的・名称・活動内容・代表者等々、和気あいあいとした雰囲気の中で和やかに話し合われ、会の名称は「若葉会」、会長に原千代枝さん、副会長に高津千雪さん、会計に古河誠治さん、定例会は毎月第4火曜日10時からなど決定しました。

超高齢化社会を目前にした今、高齢者の皆さんが仲間づくりを通して、生きがいを持ち、住み慣れた地域で元気に楽しく活動していきましょう。

地区懇談会のお知らせ



7月9日・10日の二日間、校区別人権・同和教育懇談会が自治会館や公民館など8会場で行われます。今年度は「桃花の自由帳」のDVDを視聴しての学習です。これは、偏見による重苦しい人間関係が、小学生の女の子の素直な目線による言動で、温かいものに変っていくという内容のDVDです。夜間にはなりますが、参加して自身の感性を磨きませんか。

人権のつどい日 『環境が人を育てる』 上堂真哉さん

5月の「人権のつどい日」は、まさき育成園顧問の上堂真哉さんを講師にお迎えし、『環境が人を育てる』（育てたように子は育つ）という演題で、子育てについてお話していただきました。○「子どもの状態が突然豹変することはない。」必ず前兆がある。その前兆に気づくことが、子どもを救うことの第一歩。毎日の言動に関心をもって、サイン（変化）を見逃さないことが大切。

○「非行は、特殊な環境でのみ発生しているものでもない。」わが子に限って…は、ありえない。
○「ツツパリの裏に、かまってほしいという本音。」愛されたい。認めてもらいたい。受け止めてもらいたい。子どもの本音に本気で接する。

などのお話の後、具体的に子どもと接する時の留意点についてお教えいただきました。上堂さんのあつい思いが伝わってくるお話に、参加者は何度もうなずきながら聴き入っていました。参加者の感想に、「子どもに対しても、きちんと説明すること、自分の間違いはきちんと謝ることの大切さを再認識しました。」「見過ごした時間が、取戻しをきかなくする。ということに肝に銘じたい。」など、自分を振り返る時間を共有できました。

講話が終わったの雑談の中で、上堂さんの「子どもが何歳になろうと、親としての責任を果たしていこうと思う。子どもにも、孫にも」という言葉に共感を覚えました。



「これは、ドトローシー・ロー・ノルトの『子は親の鏡』という詩です。家庭を地域に、子どもを私たち一人一人に置き換えても通じるのではないのでしょうか。和氣あいとした地域で私たちが生活できれば、きっとこの世の中はいいところだと思えるようになります。」

「かわいそうな子だ」と言っている、子どもは、みじめな気持ちになる
 子どもを馬鹿にすると、引込みあんな子になる
 親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
 広い心で接すれば、キレる子にはならない
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
 やさしく、思いやりを持って育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
 和氣あいあつとした家庭で育つは、
 子どもの、この世の中はいいところだと思えるようになります。」

回転木馬紹介

あっちでヨチヨチ、こっちでドタバタ。ばらばらの動きをしていた子どもたちが、中央に集まってきた。最初は指遊びのオープニング。お母さんと一緒にかわいい笑顔がはじける。今日の出し物は、紙芝居・絵本・手遊び・仕掛け絵本・パネルシアター。夢中になり、思わずパネルに近づき手を伸ばす子も二人・三人。幼い子どもの輝く瞳とお母さん方の笑顔が溢れるひと時でした。

瀬戸児童館では毎月第3火曜日（7月は第2火曜日・8月は調整中）の午前10時30分から「回転木馬のお話会」を行っています。参加して、親子の世界を広げませんか。お問い合わせは瀬戸児童館（☎41-1983）までお願いします。



ピンポン

平成21年から始めた卓球ですが、動きを見た人に「名前はピンポンの方がいいよ。」と言われ、「今更ピンポン」とは思いましたが、かわいい響きが気に入って、サークル名はずっとピンポンで通しています。集った仲間は年齢的にも同じくらいの、気持ちも若く体も元気な楽しい面々。体を動かし、口の体操も楽しみ、時間の過ぎるのが早く感じるひと時を共有しています。



詩吟

まずお茶におしゃべり、一段落すればさて本番。厳しく真剣に吟の練習。思い切り腹の底から声を出してストレス発散。みんなで楽しく和氣藹藹と、本気で一生懸命に練習に励む私たちのサークルです。興味のある方は、一度覗いてみてください。

リトミック

親子クラスは月曜日と木曜日の午前中、幼児クラスは金曜日の15時半からレッスンしています。親子クラスは、生のピアノの音を聴きながら即時反応したり、いろいろな道具を使ってリズムを打ったり、絵カードを見て言葉のリズムを打ってみたり、親子でスキンシップをとりながら楽しんでいます。幼児クラスは、お友達と一緒に動くことで、協調性を養い、音感も養っています。遊びながら学べるリトミック。音楽が好きな子どもに育てほしいと思っています。



平成27年度女性部総会及び女性職員研修会

5月8日(金)、東温市川内公民館にて平成27年度女性部総会及び女性職員研修会が開かれました。午前中は平成26年度事業実施報告や27年度事業計画(案)の報告があり、続いて西予市宇和ふれあいセンター館長の講話がありました。宇和ふれあいセンターでの取り組みや今後のあり方など発表があり、瀬戸会館でも取り入れてみたいなあと思う事がありました。午後からは元八幡浜市教育委員会社会教育指導員道休明美さんの「童謡から見える人権と課題」の講演がありました。小さい頃母が寝る前によく歌ってくれた童謡、友達と遊ぶ時に歌った童謡。何気なく歌い何気なく聞いた童謡が作詞者の思いがたくさん詰った1曲1曲であること、その歌が歌い継がれてきたのだとわかりました。